

「鳥取県の未来の姿」（素案）に対するパブリックコメント実施結果について

平成19年2月7日
政策企画課

1 募集期間

平成18年11月1日～12月20日（50日間）

2 意見の提出件数

44件（19人）

*いただいた意見の趣旨に応じて、こちらで44件に分類、整理させていただきました。

3 意見に対する考え方、対応結果

（1）全般に対する意見について

将来ビジョンの提示がないことについて（3件）

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・全般にデータの説明が多く、突っ込んだ分析が少ない。また、問題点の指摘も少なく物足りなかった。是非、思い切った未来像を具体的に示して欲しい。 	<p>この「鳥取県の未来の姿」は、目標とする鳥取県の姿を示すようなものではなく、また、今後、行政が取り組む事業などを示す行政計画ではありません。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県としてどのような方針を持ち、これからの町づくりに臨んでいくのが理解しにくい。まとめのページを追加されるとより分かりやすい資料になるのではないか。 	<p>県民一人一人に鳥取県の将来、あるいは、そのために必要な施策などを考えていただき、鳥取県の将来の大まかな姿についての認識を共有していただくための素材として提供するために作成しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・この姿は、鳥取県の行政範囲内だけで書かれたものか、そうであるならこのタイトルはおかしい。市町村行政の範囲とされるものも含めるべきである。トレンドに何を期待するのか県政のビジョンはどうしたのか。誰にも負けない国中に誇れるビジョンを示していただきたい。企画部に知恵者はいないのか、ビジョンを県民から求めてどうする。県民は、今、県政に何を求めていると思うか。10年後にどのような夢が描けるか期待感を込めてみているのではないか。県が書くとこんな姿になる。これに対して、意見を求めるなら分かる。現状を良く理解して県民提案とすべき。バランス感覚に欠ける素案である。 	<p>将来を予測することは、困難で十分な分析になっていない部分もありますが、皆さんが問題意識を持っていただくきっかけになればと考えています。</p>

「現在の鳥取県の姿」と「10年後の鳥取県の姿」が対応せず、「10年後の鳥取県の姿」が未来像になっていないことについて（2件）

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<p>・第 章「現在の鳥取県の姿」と、第 章「10年後の鳥取県の姿」の関連性が不明確である。第 章で示した指標が10年後にどのように変化しうるかを第 章で描くべきである。第 章の中でも、「1人口、情報・交通基盤の姿」と「2暮らしの姿」で性質が異なっている。2は10年後の姿を描いていない。第 章は純粋に10年後の社会の姿を予想してみる方がすっきりする。「あるべき姿」を提言するのであれば、第 章を受けて、第 章を設けた方が分かりやすい。</p>	<p>現状としての鳥取県の特徴と、将来の課題は必ずしも対応しないことや、予測することが困難な項目があること、10年後の姿は主に生活者としての視点から記述していることなどにより、第 章と第 章がきちんと対応していない面もあります。</p> <p>また、将来を予測することの限界もあり、「10年後の鳥取県の姿」では、これまでの統計指標の動向や現状から推察される課題などを記述しています。</p>
<p>・かなりの項目が「10年後の鳥取県の姿」として記載していることが不適當な、「現在の鳥取県の姿」で語られるべき内容である。「現在の鳥取県の姿」で書かれている内容が、「10年後の鳥取県の姿」でまったく触れられていないものがあるのは駄目である。何らかの課題提起や提案を行うべきである。</p>	<p>また、前記 に対する考え方とおおり「あるべき姿」を提言することは考えていません。</p>

追加すべき項目について（7件）

ア 産業

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<p>・今、鳥取県に求められる産業振興の記述がほとんどない。入れるべきである。</p>	<p>この「鳥取県の未来の姿」は、今後、行政が取り組むべき事業などを示す行政計画ではなく、産業振興施策については記述していません。</p> <p>鳥取県では産業の高付加価値化・実践的人材の育成を進め、県民所得の増加と効果的雇用の創出を図るための取組を進めています。詳しくは、「鳥取県経済政策の活動指針」などを掲載した鳥取県ホームページの分野別県政情報「産業と雇用」をご覧ください。</p>

<p>・ 3次産業と1次産業の農家世帯は触れてあるが、漁業と林業のことがないがこの2点も重要である。</p>	<p>この「鳥取県の未来の姿」は生活者の視点から見た鳥取県の姿を描くこととし、県全体の就業状況の特徴、雇用環境の変化などを記述し、各産業分野については、記述しないこととしました。</p> <p>各産業分野の現状については、鳥取県ホームページ基本情報「統計」を、また産業振興施策については、鳥取県ホームページの分野別県政情報「産業と雇用」をご覧ください。</p>
--	--

イ 産業・消費動向

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<p>・ 簡単にでも、予想される産業構造の変化、労働・雇用環境の変化、消費動向の変化について予想することが望ましい。</p>	<p>産業構造の変化、雇用・労働環境の変化については、不十分かもしれませんが、「高校からの進路」等の中で記述しています。</p> <p>消費動向の変化の分析までは、「鳥取県の未来の姿」では考えていません。</p>

ウ 防災、環境問題等

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<p>・ 地震対策が一つもない。安全は警察だけか。県政としては全くおかしい。防災、消防、救急は住民の安全では最も重要なことである。また、環境の問題がほとんどない。ゴミ、地球温暖化の問題は避けるべきでない。また、バイオ燃料の問題はとりあげるべき課題である。</p>	<p>御指摘を踏まえ、ごみ、防災について、項目を追加したいと考えています。</p> <p>「鳥取県の未来の姿」では、特徴のある統計データを紹介しています。</p> <p>詳しくお知りになりたい場合は、防災等については、鳥取県地域防災計画などを掲載した鳥取県ホームページの分野別県政情報「防災と治安」を、環境問題等については、鳥取県環境基本計画などを掲載した分野別県政情報「くらしと環境」をご覧ください。</p>

エ 農山村の将来

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の農家人口割合や遊休耕作地面積の推計はもちろんのこと、現在、推し進められている農業集団化が、県内農村落の存続を本当に可能にするのか、といった観点から農山村の将来について分析していただきたい。 	<p>意見に対する考え方、対応結果</p> <p>このような詳細な分析は「鳥取県の未来の姿」では考えていません。</p> <p>農山村の将来については、平成18年に県内市町村と鳥取県が共同で実施した「山間集落の生活実態調査」や、これまでの農業振興施策の状況などを踏まえて、将来の課題などを検討したいと考えています。</p>

オ 自然環境保全

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ どうすれば自然環境を守っていくことができるのか、さらには環境をより清浄にするには何をすればよいのか、といった観点からも鳥取県の自然環境についてもっと分析していただきたい。 	<p>意見に対する考え方、対応結果</p> <p>このような詳細な分析は「鳥取県の未来の姿」では考えていません。</p> <p>環境問題については、鳥取県環境基本計画を策定し、取組を進めているところであり、詳しくは、鳥取県ホームページの分野別情報「くらしと環境」をご覧ください。</p>

カ 行政支出水準

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国・自治体とも行財政環境の悪化は確実であり、持続可能な行政支出水準を示し、現在からどの程度減少させなければならぬかを示すことも、暮らしの姿をイメージしやすくする 	<p>意見に対する考え方、対応結果</p> <p>地方の税財政制度の先行きが不透明であり、また、福祉、社会保障制度など国の政策の影響を受けることもあり、持続可能な行政水準を示すことは困難です。</p>

表現について（2件）

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に表現がかたい。県民に意見を聞く段階では、もう少し口語的な表現がよい。 ・ 素案にお役所表現が多いが、一般県民を対象とする以上、判り難く不適當である。 	<p>意見に対する考え方、対応結果</p> <p>出来るだけ分かりやすく、興味を持っていただけるよう工夫しているところですが、分かりにくい箇所などがありましたら、お問合せください。</p>

作成方法について（５件）

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・全国の動向と比較して鳥取県に顕著な変化を取り上げることがインパクトがある。 	<p>県民の皆さんに、自分の問題として考えていただきやすくなるように生活者の視点で関心が高いと思われるテーマを設定しました。</p> <p>また、作成に当たっては、鳥取大学教授、とっとり政策総合研究センター研究員の方などのご助言を得ながら、全国の動向や各県との比較などの分析を行い、「素案」の段階で意見募集を行いました。</p> <p>より良い作成方法を検討していきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・指標の専門家に１０年後の予想を行ってもらい、それを参考とすることも有益である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・一通り目を通したが、はっきり言うのがっかりである。これは机の上だけで考えられた鳥取県の姿である。もっと周りに目を配っていただきたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、将来に対する課題などを提起するべきである。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・予想時点での人口を土台として、経済等がどのようになりうるかを考えるべきである。生産年齢人口の減少がどのように影響するかを中心に考える方向性がよい。また、各項目とも人口構成、生産年齢人口の変化という切り口で「串刺し」の分析を強めてはどうか。 	<p>このような詳細な分析は「鳥取県の未来の姿」では考えていません。</p>

（２）個別箇所に対する指摘について（１２件）

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<p>現在の鳥取県の姿 (P4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民所得や人口減少をあえて他地域と比較する意図がよくわからない。これらの指標は他地域と比較してもあまり意味がない。 	<p>他地域と比較することで本県の状況を考えたり、認識することが出来るものと考えています。</p>
<p>(P7)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素案では「鳥取県の水はおいしい」とあるが、水の“おいしさ”を証明するには、科学的な水質データ（もしくはそれに類する何らかの基準）が必要である。 	<p>水工場が県内に次々と進出していることや、河川が汚染されていないことをおいしい水の根拠として考えました。</p> <p>おいしい水道水の供給を目指すための硬度や臭気度などの水質の目標基準を厚生労働省で策定していますが、鳥取県はもちろん多くの県でこの基準を満たしており、この基準を根拠にして鳥取県の水がおいしいことを証明することは困難です。</p>

<p>現在の鳥取県の姿</p> <p>1 人口、情報・交通基盤の姿</p> <p>(1)人口減少の時代 (P13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩美郡、八頭郡の中学三年生が半減するのは、合併で鳥取市にカウントされる為でないか。母数カウントがおかしいのではないか。 	<p>合併後の市郡区分での、0歳と中学3年生の人数を比較したもので、鳥取市の合併は関係していません。</p>
<p>(P13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字の内訳がURLで元データにリンクされていると良いのではないか。 	<p>資料の出典を記載しており、統計データとのリンクは考えていません。</p>
<p>(2)本格的な情報化社会の到来 (P15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後も鳥取情報ハイウェイや地域公共ネット存続前提はおかしい。民間委託・民間売却や岡山県との接続によるループ化、災害に強い2重化対策、NTT西にのみ整備を頼らない僻地のIPネットワーク化についても考えを示すべきである。電力系、鉄道系、高速道路系にもコストダウンを目的に積極的に接続支援を求めるべきである。 	<p>今後の情報通信基盤の整備は民間主導になると思いますが、情報ハイウェイ等の既存のネットワークを有効活用することも必要であると考えています。</p> <p>今後の技術の進展に注目していきますが、現時点で具体的な未来像を示すことは困難です。</p>
<p>(3)高速交通が生活を変える (P17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路以外に鉄道網・バス網の10年後の姿も見たい。 	<p>鉄道網については鉄道事業者が主体となって採算性等を勘案しながら整備されるものであり、県が将来の姿を示すことは困難です。</p> <p>バス網については、市町村が中心となって地域で話し合っ、今後の運営方法を検討しているところであり、県が将来の姿を示すことは困難ですが、オンデマンドバスなど地域の需要に密着した運行が行われることが予測されますので、その旨を追記します。</p>
<p>2 暮らしの姿</p> <p>(2)大学からの進路 (P21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非正規雇用者の増加によって「大卒 新卒正社員」になるとあるが、その関係がよくわからない。非正規雇用者の何割が大卒者なのか、そしてそれが増加してきているのか、という情報が必要である。 	<p>御指摘を踏まえ追記します。 (全国の大卒者の非正規雇用比率の増加状況の資料を追記)</p>
<p>(3)結婚・出産 (P25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産に関して、「高齢出産はその分、喜びも大きい」とあるが、何の主張なのかよくわからない。 	<p>御指摘を踏まえ修正します。 (「喜びも大きい」を削除)</p>
<p>(P26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晩婚化や晩産化の原因は、男性が家事・育児にほとんど参加しないことによるのではないか。また、男性の育児時間が全国を下回るの、昔ながらの性別役割分業意識を持った人(農家やお年寄りなど)が多いことも原因ではないか。そのため、働き方の見直しをすることよりも、まずは意識改革が必要である。 	<p>いろいろな分野、世代で男性の意識改革を進めていくことは必要であり、意識改革の必要性を追記します。 (男性の意識改革が必要であることを追記)</p>

<p>(P26)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児時間(1日あたり)が、鳥取県で1時間10分というのはおかしい。育児をしない者の実態が反映されていない数値である。我々がよく目にするのは、0.4時間であり、鳥取県が出しているリーフレットにも、家事・育児などで24分となっている。 	<p>御指摘を踏まえ修正します。 (育児をしない者の実態も反映した指標に変更)</p>
<p>(4)住まいを充実する (P27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「恵まれた居住環境は、将来にわたり維持されると予測」と書かれてあるが、少し定義が曖昧である。後の項目で『空き家率が上昇傾向 地域の不安にどう答えるか』というものがあるように、この問題も立派な「住環境」のひとつである。 	<p>御指摘を踏まえ修正します。 (定義が明確になるよう修正)</p>
<p>(6)人生の後半を健康に暮らす (P34)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防のために、「全国平均より多めの酒量を減らし、運動を」とあるが、運動時間の少なさは、自動車の普及率とも大きく関係していると思われる。そのため、自動車を使いすぎることへの注意喚起があってもよい。 	<p>御指摘を踏まえ修正します。 (自動車を使いすぎることへの注意喚起を追記)</p>

(3) 政策提言等について(13件)

ご意見	意見に対する考え方、対応結果
<ul style="list-style-type: none"> ・そう遠くない10年後を予測していることで、自分自身のことと関連付けて考えやすかった。鳥取県民に正確な認識が広まるよう積極的にPRしてほしい。 ・情報化社会の推進について、情報ハイウェイの活用策が推進されるべきであり、同時に強固なセキュリティ対策のため行政が基盤整備の先導役となる必要がある。また、利用したい時に使えるインフラ整備を推進していただきたい。 ・世代間交流の推進について、鳥取は高齢者と触れる機会については、大いに恵まれている。少子高齢化社会といわれる中で、高齢者と係わる機会を有効に活用すればあらゆる問題の解決の一助となる。 ・男女共同参画について、性別役割分業意識を持った人でも考えを変えるような、呼びかけや制度づくりをお願いしたい。 ・未来の鳥取県を支えるべき人材は、県外へと出て行く大学進学者たちであり、いかに県内に呼び戻すかを考えなければならない。そのためには、県内に魅力のある雇用を増やし、若者が活躍できる環境を増やしていくかが重要である。現在、鳥取県にはさまざまな問題があるが、人材不足という問題を補うことができれば鳥取県の未来は明るいものとなる。 	<p>「鳥取県の未来の姿」を積極的にPRします。 政策に対する提案については、担当部局へ伝え、施策立案の参考にしていただきたいと思います。</p>

- ・金をかけるのなら教育しかない。県立の高校・大学を新設して県下の俊才を片っ端から集め、そのうちの6割強は入学時に将来なんらかの形で県の政治、産業、文化に尽力することを誓約させること。人口、産業に乏しい鳥取県では人材こそが財産になる。
- ・自然・文化・遺産や、環境・教育・生活・福祉や、国際化・人権・健康など未来を担う若者が定着することが望ましい。
- ・鳥取県と島根県、両県あつての山陰という認識を山陰両県民に根付かせる事が大事なんじゃないかと思う。
- ・鳥取・島根の山陰地区にテレビ朝日系列局・テレビ東京系列局の2局開設を強く希望する。
- ・第3次産業が普及している中で、鳥取県もこの波に乗って第3次産業を普及させても担い手や需要が追いついていかないのではないか。
- ・鳥取県は交通の便が悪すぎて自動車が普及しすぎているため、公共交通機関の赤字や、鳥取駅前の商店街の衰退が進行していると思う。
- ・マンションの建設がとても進んでいるが需要はあるのか。このままでは赤字になるのではないか。
- ・スポーツや文化にも積極的に応援することが重要。スポーツや文化を根付かせることで県民は地元共同体に誇りを覚えるはずである。